



各 位

2019年2月5日

会社名 大陽日酸株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 市原 裕史郎
(コード番号 4091 東証第一部)
問合せ先 広報・IR部長 於勢 久卓
(TEL 03 - 5788 - 8015)

業績予想の修正に関するお知らせ

米国Praxair, Inc. 社の欧州事業の取得（2018年12月3日付で手続き完了を公表済み）による連結業績への影響額を精査した結果および事業全般における最近の動向を踏まえて、2018年5月9日に公表しました2019年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日 ～ 2019年3月31日）

	売上収益	コア営業利益	営業利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	670,000	64,000	64,500	40,000	92.43
今回修正予想(B)	735,000	66,500	67,000	41,000	94.74
増減額(B-A)	65,000	2,500	2,500	1,000	
増減率(%)	9.7	3.9	3.9	2.5	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	646,218	60,033	59,862	48,919	113.04

2. 修正の理由

欧州ガス事業が新たに加わったことにより、売上収益が520億円増加し、コア営業利益が63億円増加する見込みです。一方、取得関連費用の計上により、コア営業利益が28億円減少する見込みです。なお、当連結会計年度における欧州ガス事業の連結期間は2018年12月から2019年3月の4ヵ月間です。また、パーチェス・プライス・アロケーションの暫定結果を反映させています。欧州ガス事業以外では、売上収益は、米国ガス事業でバルクガスやハードグッズの売上収益が好調に推移し、当初予想を上回る見込みです。一方、コア営業利益は、国内ガス事業で炭酸ガスの原料不足によるコスト増加などで当初予想を下回る見込みです。

(注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によっては、実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上